

心ふれあい SA 吹田通信 第 105 号

発行 SA 吹田事務局 〒564-0032 吹田市内本町 3 丁目 3 番 3 3 号 TEL 06-6382-1872
 ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.htm>

高大三期生を迎えてインターンシップ授業

金馬弘昌 (20 期)

1 月 30 日 (月) 高大三期生を迎えてインターンシップ授業を実施しました。

SA 吹田の活動状況を知って頂き、後日の活動にお役にたてばとの思いです。今回の参加学生は、社会コミュニティ科に限られ、それも地区ごと開催なので、当方は女性お一人のみでした。午前中は吹田社会福祉協議会で広田地域福祉課長から、「住み良いまちづくり」地域福祉についてお聞きしました。地域福祉には施策の重要性は当然として、「行政と地域住民との相互理解と信頼に基づく協力、協働が必須である」と。

次いで高齢者疑似体験を装具の「錘」などを手足に取り付け「老いるとは」を体験し、白杖を持ちアイマスクをしてペアを組み「視覚障害者」体験もしました。

午後は弘済院第二特別養護老人ホームを

訪問、歌体操によるリハビリ活動に同席しました。入居者は認知症の方達です。加藤さんを含め三人の歌、手振りなどの動きに合わせて何人かは声も出し、手指も動かして、昔の懐かしい歌に微笑えまれました。リハビリ活動見学の前に木村施設長に認知症の話をお聞きしました。病理的な難しい話は別として、予防方法は関心の的でした。しっかりとした目標を持ち、人とのコミュニケーションを大切に、多くの人に接するのが良い。気を遣いストレスも多いが、脳は 70%使っていないので使って刺激を与えるのが良い。ボランティア活動こそ、認知症予防の最良の手段であるとのお勧めがありました。“皆さんと一緒にボランティア活動に励みましょう”





国際交流授業

片山小学校



インフルエンザのため間際まで学級閉鎖がされていて懸念していましたが、授業当日は 6 年生 4 クラス揃って元気な姿にホットしました。片山小学校での国際授業は初めての取り組みでしたが、外国の 4 人の皆さんが 6 年生が興味を持つ内容をパワーポイントにまとめておられたので児童たちは

国際交流部 田原美佐穂 熱心に話を聞いていましたとても活発で質問もあり楽しい雰囲気です。90 分の授業の内分けて後の 30 分を児童による手描きの絵によるクイズがあり、私も真剣に考えて間違ったりと面白かったです。それにしても留学生の方々とても日本のことをよく知っていました。



SA 吹田こんな活動も



広報部記

東日本大震災の後、被災された方々が今、現在約 96 名が吹田市に住んでおられます。SA 吹田も支援サポートに参加しています。あるグループが開いている無料塾では大学生が小学生を対象に勉強を教えたり、一緒に遊んだり人気です。こどもたちが勉強している間、お母さん方と話をします。やはり直接に震災当時のお話には涙が出てきます。2 月 12 (日) 日頃のお礼にと「夢つながり未来館」で東北の方たちによ

る芋煮会がありました。笹原さんと田原が参加しました。その様子が 21 日夕方 6 時からの NHK ニュースで放送されました。芋煮鍋も山形風と宮城風と 2 種類を頂きました。東北地方では秋から初冬にかけて沢山の人が河原に集まって芋煮鍋を楽しむそうです。プラット来た旅人も温かく仲間に入れてくれるとのこと。

第 12 回 いのっこまつり

2 月 25 日 26 日に亥の子谷コミュニティセンターにて第 12 回いのっこまつりが開催されおもちゃ部より 12 名ずつ参加しました。当おもちゃコーナーは同祭り展示部門での一

おもちゃ部 笹原義正
番人気コーナーです。初日はあいにくの雨でしたが来場者は過去最高とのことで、皆さんは食事や休憩も忘れて写真の通り大奮闘されておりまして



学校福祉体験ボランティア養成講座を受けて

かねて関心のある養成講座を受けてみましたが、案外参加者が少ないのに驚きました。先ず参加者 12 人で半円に座り、講義を聞きました。作業内容は分かっているつもりでも、いざ自分が体験するとなると、とても緊張して説明を聞きました。参加者の中には障害のある方もおられましたが、障害のある仲間たちに今日勉強したことを教えてあげたいと言っておられ、その連帯感、友情には感心しました。

他の人たち多少福祉体験のある方が多いようでした。まず“車椅子”から始まりました。お隣の方とペアになり替わり番に乗せてもらったり、押したりと体験しました。乗せてもらうのは嫌だと思っていましたがやはり怖いものでした。子供たちも不安だとか怖いと言っていたと思います。押している間は車から手を離さず、常に周囲の状況に乗っている人に説明し話しかけることが大切だと思います。黙って押されているほど怖いものはないです。次は高齢者体験です。錘のように重いものを手足につけら

福祉部 瀬野 文
れ白いアイマスクも付けて目も白内障になり、耳も聞こえにくくなりました。一度に大変なことになってしまいました。これで色々日常生活をするのはとても不便です。私は高齢ですので一ヶ所でも都合が悪いと大変ですのに、ほんとに障害が体に起こるとどうしていいか分からなくなります。子供たちも疑似体験を通して高齢者に優しく、労わりの気持ちを持ってくれると思います。次は“アイマスク”と“白杖”です。とても怖い体験でした。相手の信頼と優しさにすがって実践しました。子供たちでもいつも歩いて廊下を“アイマスク”を付け、“ここはどこだ”と言っていましたから、子供たちも目の不自由な人の苦労に思いやりの気持ちをもてる体験だと思いました。ぎっしり内容のある体験でしたが、参加をされている多くの方々を見て私も体が動く限りご不自由な方に少しでも役に立ちたいと思いました。今後は、子供達、健常者は勿論、高齢の私も、障害のある方も、もっとお互いを知るため勉強したいと思いました。

心ふれあい SA 吹田活動予定

SA吹田全般	時 間	内 容	担 当	場 所
3月9日(金)	10:00~12:00	SA吹田役員会	総務	市民会館
3月14日(水)	13:30~15:30	おもちゃ部会	笹原義正	市民協働学習センター
3月19日(月)	10:00~12:00	歌体操部会	加藤昌子	メイシアター第1練習室
3月31日(土)	10:00~12:00	ブロック部会/印刷	広報・ブロック	亥の子谷コミセン
おもちゃづくり	時 間	内 容	担 当	場 所
		3月は予定なし		
高齢者ケア	時 間	内 容	担 当	場 所
3月10日(土)	14:00~15:00	歌体操	加藤昌子	グループホーム「たんぼぼ」
3月16日(金)	14:00~15:00	歌体操	加藤昌子	弘済院第2特養
3月28日(水)	14:00~15:00	歌体操	船田弘子	スローライフ千里
市民塾関係	時 間	内 容	担 当	場 所
3月 6日(火)	10:00~12:00	歌体操市民塾	加藤昌子	市民会館5階大集会室
3月10日(土)	10:00~12:00	SA吹田おもちゃ作り市民塾	丹羽史朗	北千里公民館
毎月第2火曜日	13:30~	エコおもちゃ作り市民塾	小川忠夫	SAハウス
3月20日(火)	10:00~12:00	歌体操市民塾	加藤昌子	市民会館5階大集会室

SA 吹田のホームページとブログは随時更新しております

ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.htm>

ブログ <http://cocorosasuita.blog91.fc2.com/>

福祉部会会員募集

福祉部会は、小中学校福祉教育支援を目的として 2009 年に発足いたしました。私たちが関わっている福祉教育とは「車いす体験・アイマスク体験・高齢者擬似体験」です。学校から社会福祉協議会に要請があります。それを受けて SA 福祉部会に依頼がはいり活動するのです。これまでに多くの会員さんに学校で活動していただきました。

福祉部会の活動には定評があり感謝されてもいます。今回、学校・社会福祉協議会からの依頼にゆとりある対応をするために、会員の募集を致します。体験の内容につきましては講習をいたしますので、ご心配なく応募してください。孫のような生徒たちの福祉教育体験をご一緒に支援しようではありませんか。お待ちしております。

申込み先

三好桂子 TEL 06-6831-8423

見並泰男 TEL 06-6384-8768



編集後記 例年より遅れてた梅が各地で咲きはじまりましたが、「梅に鶯」綺麗な鳴き声の鶯ですが、絵画などではほとんどがメジロが描かれてるようです。(川端)

